

第6回 草津市産業振興審議会 会議録

■日時：

令和5年1月17日（火）15時00分～16時00分

■場所：

キラリエ草津 4階 402会議室

■出席委員：

肥塚会長、辻田副会長、梶野委員、加藤委員、金澤委員、阮委員、瀬川委員、鶴房委員、廣瀬委員、福知委員、前岡委員、南委員、峯俊委員

■欠席委員：

清水委員、西村委員

■事務局：

環境経済部 寺田部長、太田副部長

商工観光労政課 井上課長、横江課長補佐、寺内課長補佐、中井係長、平松主査、河上主査

■傍聴者：

1名

1 開会

【寺田部長】

本日は御多用の中、第6回草津市産業振興審議会に御出席いただきましてありがとうございます。

本日の会議では、前回の会議以降、事務局で資料の修正等を行ってまいりました結果を答申案として御説明をさせていただき、皆様に御審議いただくものでございます。

なお、先に御案内のとおり、本日が答申に向けた最後の会議となりますことから、委員の皆様におかれましては、引き続き活発な御議論をお願いさせていただき、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく申し上げます。

【事務局】

<草津市附属機関運営規則に基づき、本審議会が成立していること及び傍聴者の報告>

2 審議

(1) 第5回会議の振り返りと本日の審議ポイント

【事務局】

<資料3・4に基づき説明>

各委員より意見なし。

(2) 草津市産業振興条例（答申案）について

【事務局】

<資料5に基づき説明>

各委員より意見なし。

(3) 草津市産業振興計画（答申案）について

【事務局】

<資料6・7に基づき説明>

【委員】

条例の今年7月制定予定とのことであるが、施行も7月なのか。

【事務局】

条例と計画は同時で7月の予定である。

【委員】

前回とデータの年が違うところが幾つかあるが、なぜそういうふうにしたのかよく分からない。

例えば、資料7 10ページ、労働力人口の推移で、前は平成7年があったが、今回は平成12年からとなっている。上の文章で、「また、完全失業率は平成12年からおおむね増加していましたが」という表現があるが、前は平成7年があり、平成7年は3.5で少なかった。3.5から3.8に上がっているので、平成12年は上がっているということがわかるが、平成12年から始まると、ここから上がっているかどうかがよく分からない。前回、平成7年があってこそ初めてここが上がっていることが分かるので、それを削除しまうと、この上の文章と合わないのではないか。

もう一つ、資料7 25ページ、大学との協定を結んでいるところで、ここは大学の並びを整理されたと思うが、この文章の表現の中で、「多くの大学で平成27年度から令和2年度にかけて増加しており」とある。これも平成27年から始まっているので、これ以前のデータがないとここから増加しているかというのが分からない。少なくとも平成26年以前、3年とかそういったものがあり、そこが少なく、平成27年以降が増えているのであればこの表現でいけると思うが、そこはどうなのか。

あと、資料7 13・14ページだが、ここも前回であれば平成21、22年とあったが、それが削除されており、平成23年から始まっている。代わりに令和元年が入り、直近のデータが入っているので良いと思うが、データ自体、多くあれば皆様によく見ていただける、過去はこの様に推移しているということをよく分かっていたのかと思うのだが、データは多いほうが良いのではないか。

【会長】

資料7 10ページの文章は、平成12年以降増加しているという文章なので、その前のデータがなくてもこの文章は成立している。25ページも同じで、この表で伸びているのは分かるので、その前のデータがなくても読み取ることができるため、文章と表は整合しているという理解で良いと思う。

【委員】

前回から削除されている点についてはどうなのか。

【会長】

前回様々な御指摘をいただき、整理をしたが、基準になる表がばらばらであるのは良くないというのが全体的な意見であった。そこをどういう形で整理したのかについては、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

今の御指摘については、前回も意見をいただいていたので、資料3 (6) に意見に対する対応を記載しているが、データ、グラフ関係については、工業振興計画が平成21年に策定をしているので、基本的には平成21年以降で示されているデータを記載している。市内総生産については、前回の会議時では平成30年度までが公開されたデータであったが、直近で令和元年度のデータが更新されていたので、令和元年度は追記したが、公開されているデータが平成23年度からとなっているという事情がある。

今回資料を修正するに当たり、表現とグラフが合うように整理を進めていたが、最終確認はさせていただきたい。

【委員】

先ほどもあったが、条例施行は7月予定で、この計画も同時にスタートするのか。

【会長】

お見込みのとおりである。

【委員】

そうすると、今から半年間あるが、条例は半年あっても内容的に問題ないと思うが、計画については、半年の間に劇的な経済変動等があった場合はどうするかというのを危惧している。その場合、市で考えがあるのか。

あと、資料編について、アンケート調査等の結果を記載されているが、計画全体の半分ぐらいを占めている。ここを整理できないのか。計画の部分がかすれてしまう感じがする。

【会長】

87ページ以降のことか。それとも65ページからか。

【委員】

65ページからである。

【会長】

アンケートとヒアリング調査の結果も含めて、整理したほうが良いということか。

【委員】

お見込みのとおりである。

【事務局】

それはボリューム的な意味か。それとも記載内容が重複しているという御指摘か。

【委員】

紙面のボリューム的な視点からの意見である。印刷時の紙がもったいないのでは。議会等、いろいろと説明資料等を別に用意されると思うので、割愛できないのか。

【会長】

アンケート調査の結果は必要な情報だと思うが、重複している箇所があるのであれば、検討しても良いと考える。ただ、87ページ以降のヒアリング時の意見は、事務局として、掲載しておくべき大切な内容だということであればそのまま掲載していても良いとは思う。

【副会長】

資料編は補足資料であり、計画ではないと思う。

【事務局】

今回提示した計画については、議論いただくにあたり、全体像が分かりやすいよう1冊にまとめた形で提示している。御意見のとおり、メインは本編（第1～5章）であり、資料編は補足的に、必要に応じて参照いただくものである。冊子の構成については会長と議論をさせていただきたいと思うので、会長と事務局に一任していただけるとありがたい。

【委員】

資料7 8ページに「自然動態については全ての年で出生数が死亡数を上回っており、社会動態については全ての年で転入者が転出者を上回っています」とある。この内容に対してグラフの整合が図れていないのではないか。何を見て出生数が死亡数を上回っているのか、転入者が転出者を上回っているのかというのが、このグラフからは読み取れない。草津市統計書ではしっかりと数値化されている表があり、そちらから見せるほうが見やすいのではないか。

【会長】

今の御質問は、この表は文章を説明したものにはなっているが、動態というのは分かりにくいという意見だと思う。自然動態とは何で、社会動態とは何かという説明がないと分かりにくいと思うので、他にも同じような意見が出る可能性はある。

【事務局】

御指摘いただいたとおり、分かりにくい部分があるので、文章とグラフの整合を図るよう、

全体的に見直しをさせていただく。

【副会長】

資料7 2 ページ、冒頭の3 段目「主要産業である製造業に加えて、IT 産業も含めて工業の振興」だが、IT 産業は工業に含まれるのか。草津市としてはIT をどう位置づけていて、製造業とIT を含めたものが工業になるという理解で良いのか。

そうすると、IT 産業を工業と言うのか。

【会長】

両方である。統計上は、IT は工業とサービス業両方に入っている。

【副会長】

そのうちの工業に入るIT 産業のイメージで捉えているということか。

【事務局】

この記載は、前回の工業振興計画においてそのように整理をしていたため、その考え方を踏まえて記載をしていたものであるが、今回新たに産業振興計画を策定するという状況からすると、誤解を生むような記載となってしまうている。

【会長】

表現を見直したほうが良い。

【副会長】

次に、第2 段落の「人材不足や後継者不足に伴う事業承継」について、これは文章のどこに係っているのか。事業承継に関する説明が抜けているのではないか。

【事務局】

表現を修正させていただく。

【副会長】

その次の「より高度・複雑にグローバル化」だが、グローバル化がより高度・複雑に進展するという意味なのか。何が言いたいのかよく分からない。例えば、「グローバル化がより高度・複雑に進展する」にすれば、読みやすくなるのではないか。

また、3 段落目の「2050 年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた取組など」は、どこに係っていくのか。ここも非常に分かりづらい。あと、AI は人工知能という先に説明があって、(AI) と入っているが、IoT はそのまま出てしまっており、文章表現の乱れが気になる。

いずれにしても、冒頭から文章を読み始めると、読みにくく詰まってしまう。計画の背景・趣旨は、結構大事なところなので、もう少し一般の人が読んで分かりやすい文章にしたほうが良いのではないか。

【会長】

事務局と調整の上、修正させていただく。

【副会長】

もう1 点、資料7 4 ページ、「4. 計画の構成」における各章の説明だが、1 章から5 章

まで「整理しています」で文末が終わっている。第1～2章は「整理しています」が良いと思うが、第3～5章でこの表現は弱く感じるので、違う文末にしたほうが良いのではないかと。

【事務局】

「必要な支援の方向性を示しています」と修正をさせていただく。

【委員】

資料7 47ページからの施策内容と事業で、表の中に実施主体の「◎」や「○」をつけているが、47ページの主な取組事例の「② 産業振興団体等と連携した多面的な創業支援」で「産業振興団体等と連携して支援を実施します」というときに、産業振興団体と市が「◎」になっているというパターンがあったり、一方で、49ページの⑨「社会実験等への協力支援」だと「産業振興団体等と連携し、サポートを行います」で、市は「◎」であるが産業振興団体は「○」になっている。50ページの「② 販路開拓の支援」では「産業振興団体等と連携し促進に取り組みます」と、産業振興団体が「◎」、市が「○」になっているとか、連携と書いてあるが、「◎」だったり「○」だったりする。

あと、53ページ「(4) 戦略的な企業立地・集積の促進」で、「⑬ 公的インキュベーション施設入居企業等への支援」で、「立命館大学BKCインキュベータへの入居企業に対する」と限定的にされているが、本当にそれで良いのか。

【会長】

立命館大学BKCインキュベータだけで良いのかということか。

【委員】

御認識の通りである。

あと、56ページ「(3) 地域特性を生かした産業の活性化」の「⑦ 商工団体の活動支援」で、教育研究機関に「○」がついているが、連携のイメージというものがどういうものなのか。

【事務局】

「◎」と「○」の使い分けであるが、例えば1つ目の47ページの「② 産業振興団体等と連携した多面的な創業支援」の産業振興団体については、大津市と共同で策定した創業支援等事業計画の中で、産業振興団体、商工会議所が主体的な参画団体であるので、特にとりう形で市と産業振興団体は「◎」という形で整理している。

2つ目の49ページ⑨「社会実験等への協力支援」については、社会課題の解決であったり、事業の立ち上げのサポートを市として取り組むとしており、市だけ「◎」で整理している。

3つ目の50ページ「② 販路開拓の支援」についても、市としても当然販路開拓の支援をしているが、ここで言うと産業振興団体に「◎」をつけている。記載のとおり、実際に商談会の開催であったり、物産展の開催も中心的に取り組んでいただいているので「◎」とし、使い分けている。

【会長】

2点目の53ページ「⑬ 公的インキュベーション施設入居企業等への支援」で、立命館大学BKCインキュベータに限定して良いのかという点についてはどうか。

立命館大学はありがたいと言っているが、「など」とかはどうか。

【委員】

個別の名称を用いず、「インキュベーション施設」にすれば良い。

【事務局】

前半は、現在実施している事業である大学連携型起業家育成施設入居補助を具体的に記載したものであり、後半は、立命館BKCインキュベータに限定せず、公的インキュベーション施設を退去した方に対する支援を実施しているものである。施策としては二本立てのものをまとめて記載している。

【会長】

承知した。

最後の56ページの「⑦ 商工団体の活動支援」について、教育研究機関をどのように考えたら良いかという質問に関してはどうか。

【事務局】

こちらについては、令和3年度、実際に市と商工会議所、立命館大学の三者でSDGsのセミナーを開催させていただいたこともあり、そういうところも想定しながら、関連という形で「○」をつけている。

【委員】

資料7 24ページ、観光の概況について入込客数で比較されているが、この文章は、外から来る人が増えたと言いたいのか。この文章だと、2017年に草津川跡地公園ができたから増えたとなっているが、草津川跡地公園には外から来ている人が増えたと見たら良いのか、市内の方がたくさん利用したというふうに捉えたら良いのか。

【会長】

どのように解釈したらいいのか教えていただきたい。

【事務局】

草津川跡地公園については、市内・市外の分類がないまま計上されているが、感覚的に市内の方も多く利用されている。草津川跡地公園の入込客数が相当多く、県内でも有数の場所になっており、その影響が大きいというだけで、市内・市外という分類は想定していない。

市民にとって憩いの場所であるとともに、市外の方から本市が魅力的と言われている1つの要素がこの草津川跡地公園なので、内外を問わず影響が大きく、また、全体のうち相当数を占めていることも読み取れる内容となっている。

【委員】

逆に言うと、ほかに記載する内容がないのか。

【会長】

下の図を見ると、確かに「公園・テーマパーク等」が相当増えているので、それを示され

たということではないか。

【委員】

承知した。

【会長】

産業振興計画については、多くの御意見をいただき、修正が必要なところがいくつもあつたと思うが、修正内容については、会長である私に一任をいただき、御了承をいただければと考えているが、良いか。

< 「はい」との声あり >

【会長】

それでは、条例については本日の内容で了承、計画については、本日いただいた御意見を修正し、進めさせていただく。

最後に、これまで皆様から様々な御意見をいただき、事務局にて反映いただいているが、その中でも、今回の計画の重点取組として位置づけられている「企業オフィス等の立地適地の創出」について、市内における企業の立地適地が不足しているという状況であるとか、今後の草津市の産業振興を考える上で大変重要なことであると考えられ、これまでも皆様よりいろいろな御意見をいただいた。市の内部でもいろいろと議論があると思うが、ぜひとも積極的に取り組んでいただく必要があろうと考えている。

それからもう一つ、計画の進行管理をする上で設定したK P Iについて、計画期間が長いということもあり、必要に応じて見直していくということ、この2点については、1月30日に市長への答申をする際に、付帯意見ということでさせていただきたいと考えているが、良いか。

【委員】

市長に答申の際に付帯意見として申し出されることは大いに良いことだと思うが、1点、滋賀県では、産業誘致戦略を来年度に向けて策定作業中とのことであり、その動向も踏まえながら、市・県が一体となって産業誘致の促進をしてほしいという意味合いを、併せて申し出ていただければありがたい。

【会長】

そのことも含め、付帯意見とさせていただく。文章については、これも私に一任をさせていただきたいと思うが、その点も良いか。

< 「はい」との声あり >

【会長】

最後に申した点については、事務局で整理いただき、文章については、市長に答申させて

いただく際に附帯意見として提出する。

3 閉会

【太田副部長】

本日は、会長、副会長、そして委員の皆様、慎重な御審議をいただきましてありがとうございました。

この審議会は、本日で6回目ということで、2年間にわたりまして御審議をいただき、条例案・計画案を取りまとめいただきました。ありがとうございます。

先ほどから事務局、冒頭も会長からお話がありましたとおり、この後、パブリックコメント等、事務的な手続を経て、年度が変わった6月に条例案については議案として上程し、議会で議決を得られましたら、7月からこの条例と計画が新たにスタートするということでもございます。事務局といたしましても、この計画、そして条例に基づきまして、草津市の産業振興を進めてまいりたいというふうに考えておりますので、今後とも、委員の皆様方におかれましては、お力添えをいただきますようお願いいたします。本日はありがとうございます。

以上。